

# 一般質問

(一般質問は4面・5面にも掲載)



公明党 横山 むつさき

## 自他共栄の平和を創造する 人材育成は教育の力で



### 一 平和学習について

問 我が国は唯一の被爆国である。平和創造のために児童・生徒が核の脅威について学ぶ機会はあるか。また、※積極的平和はSDGsの理念と重なるが、2030年の目標に向け園小中一貫教育で学ぶ体系的なカリキュラムはあるか。

答 小学6年生の授業で平和主義について学び、市内中学校2校は広島を訪問して、平和学習の機会を設けている。今後「ふるさと科」の創設に向け研究し、SDG

### 二 投票率の向上について

問 民主主義の根幹である選挙は国民が主権を持つ大切な制度であるが、投票率は低下傾向にある。若者の投票率向上や高齢者の投票環境改善への取り組みはどうか。

答 若者には、市内高校を対象とした出前講座の実施や18歳の新有権者へお知らせがきを送付したほか、ツイッターでの配信を増やした。高齢者については、郵便などによる投票制度の要件拡大に向け、国に対して要望していく。

要望 期日前投票所の駐車場の整備拡充を検討してほしい。

### 三 産前・産後の支援について

問 厳しい出産環境にある妊産婦に対して、市外で出産する世帯への送迎タクシーの支援はどうか。

答 出産入院のタイミングは予測できないが、既に取り組みを行っている自治体を参考に、安心して出産できる制度の創設に取り組む。



平和の尊さを次世代へ(写真は、秦野市平和祈念公園)

## コロナ・災害・覚せい剤から大切な命を守ろう



創和会 阿蘇 佳一

### 一 新型コロナウイルス感染症対策について

問 ①感染状況や自宅療養者へのサポート、子どもへの接種体制は、生活困窮者への支援は、どうか。

答 ①1万8949人の感染者と23人の死亡が確認され、自宅療養者はコロナサポート秦野伊勢原で健康観察し、小児接種では小児科医の配置など安心の強化を図った。

②令和3年度の緊急小口資金の貸付件数は543件、生活困窮者自

### 二 多種多様な自然災害について

問 ①鶴巻地区の水害対策の整備状況と投資効果は、②令和3年7月に東田原地区で発生した土砂崩れへの対策は、どうか。

答 ①平成24年度に完成した大根川ポンプ場に約28億円、駅周辺の管きよの整備など約18億円を投じ、床上、床下浸水などの被害はなく、一定の投資効果は得られた。②同地区は急傾斜地崩壊危険区域に指定され、4年度末に工事着手予定。

### 三 薬物乱用防止と特殊詐欺について

問 アルバイト感覚で特殊詐欺に加担する者やストレスで薬物依存する若者が増えているが、実態は、令和3年版犯罪白書によれば、検挙者は特殊詐欺の約7割が30歳未満、覚せい剤は8654人、大麻は5034人。また、秦野警察署管内の薬物事犯は20人であった。



地域住民を災害から守る環境整備を



自民党秦野 相原 學

## 農福連携を通じた 農業者と障がい者の相互理解を



### 一 農福連携について

問 農福連携とは、障がい者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいをもって社会参画を実現していく取り組みであるが、本市における現在の進捗はどのようか。

答 令和2年度から県の「農福連携マッチング等支援事業」を受託し、社会福祉協議会を中心にJAはだの、地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」と本市の協力所、福祉事業所と2軒の農家からマッチングの希望があった。

問 取り組みを踏まえ、農福連携の推進にどのような課題があるか。

答 福祉事業所と農業者間でそれぞれの情報が少ないことが挙げられる。農業者が作業を依頼したいと思っても、障がい者側がどのような作業ができるのか分からないほか、農閑期は作業が少なく、年間を通じた安定的な作業機会の提供についても課題となっている。



障がいなどを抱える人と農業者をつなぐ支援を

問 農福連携のマッチングを推進させるため、市の補助金により支援している自治体があるが、本市でも補助制度を作る考えはあるか。

答 本市としては、さまざまな課題を整理する中で、行政としてどのような支援をすることが望ましいか検討していきたい。

### 二 教育施策について

### 無所属 佐藤 文昭

### 一 福祉施策について

## 市は保留児童ゼロに向けた 取り組みを急げ



問 令和4年4月に待機児童はゼロとなったものの、隠れ待機児童とも言われる※保留児童への対応が必要である。1人でも多くの保留児童を入所につなげる必要がある中で課題はどのようか。

答 送迎が困難で特定の園に限られる場合や、希望する園のクラスに空きがないため、入所できないことなどが課題である。また、保育人材の確保なども課題である。

### 二 緑水庵を拠点としたまちづくりについて

### 公明党 山下 博己

問 表丹沢魅力づくり構想の実現のため、緑水庵の活性化は重要である。①緑水庵をサイクリストの立ち寄り拠点にするとともにWi-Fiスポットとすること、②緑水庵を拠点として周遊するための駐車場整備を進めること、③「蓑毛自然観察の森」の整備を自伐型林業を進めることについての見解は、

答 ①サイクリストが立ち寄れるよう、ICT環境も含め整備を進める。②隣接する土地を活用した駐車場の整備に取り組む。③里山ボランティアや自伐型林業者と協議を進め本物の魅力を体験できるように、関係機関などと連携し、場所ごとに合わせた実現可能かつ最適な安全対策を進めている。

要望 安全対策の強化に向け、毎年一定の財源を確保してほしい。

三 ねりんピックかながわ2022について

問 関連イベントとして、どのようなものを考えているか。

答 競技会場の周辺では、名産品の販売など秦野の魅力に触れる機会を設け、楽しみながら健康増進の機運が高められる大会にしたい。



安心して子育てができる環境づくりを

問 いじめは人権侵害であり暴力であると考え、認知件数に関して、どのように分析しているか。

答 5年間の推移を分析すると全体的に増加している。担当教諭だけでなく学校全体がチームとなって対応することで、いじめの早期発見・早期対応に努めている。

問 児童・生徒が不安定になる夏休み明けへの支援はどのようか。

答 訪問型個別支援教室「つばさ」では、令和3年度に13人の児童・生徒を支援し、1人の児童が学校復帰、10人が学校への関わりを持つなどの成果が得られた。



緑水庵を地域のにぎわいの拠点へ



創和会 諸星 光

## 自然と都市機能が調和した 全国屈指の森林観光都市に



一 森林観光都市に向けて

問 表丹沢の魅力づくりと小田急4駅のにぎわい創造を一体的に進め、森林観光都市を目指すとのことだが、具体的取り組みはどうか。

答 表丹沢の魅力づくりでは、「魅力づくりビジョン」を掲げ、ロゴマーク「OMOTAN」の作成やホームページの開設などを行った。また、小田急4駅のにぎわい創造では、検討懇話会の立ち上げに取り組みしており、特に秦野駅北口については、令和5年度にま

ちの未来ビジョンを策定していく。

要望 自然と都市機能が調和した森林観光都市の実現に向けて積極的に挑戦してほしい。

二 通学路の安全対策について

問 児童・生徒を交通事故から守るため、どのような取り組みを行っているか。

答 令和3年度に通学路交通安全プログラムの見直しを行い、通学路の設定方針を明確にするとともに

「魅力づくりビジョン」を掲げ、ロゴマーク「OMOTAN」の作成やホームページの開設などを行った。また、小田急4駅のにぎわい創造では、検討懇話会の立ち上げに取り組みしており、特に秦野駅北口については、令和5年度にま

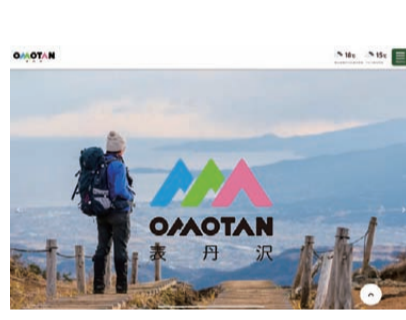
ちの未来ビジョンを策定していく。

要望 安全対策の強化に向け、毎年一定の財源を確保してほしい。

三 ねりんピックかながわ2022について

問 関連イベントとして、どのようなものを考えているか。

答 競技会場の周辺では、名産品の販売など秦野の魅力に触れる機会を設け、楽しみながら健康増進の機運が高められる大会にしたい。



表丹沢総合ホームページ「OMOTAN」

「魅力づくりビジョン」を掲げ、ロゴマーク「OMOTAN」の作成やホームページの開設などを行った。また、小田急4駅のにぎわい創造では、検討懇話会の立ち上げに取り組みしており、特に秦野駅北口については、令和5年度にま

ちの未来ビジョンを策定していく。

要望 自然と都市機能が調和した森林観光都市の実現に向けて積極的に挑戦してほしい。

二 通学路の安全対策について

問 児童・生徒を交通事故から守るため、どのような取り組みを行っているか。

答 令和3年度に通学路交通安全プログラムの見直しを行い、通学路の設定方針を明確にするとともに

「魅力づくりビジョン」を掲げ、ロゴマーク「OMOTAN」の作成やホームページの開設などを行った。また、小田急4駅のにぎわい創造では、検討懇話会の立ち上げに取り組みしており、特に秦野駅北口については、令和5年度にま

### 用語解説

※積極的平和…平和学の第一人者といわれるノルウェーのヨハン・ガルトゥング博士が唱えているもので、「貧困、抑圧、差別などの構造的暴力がない状態」と定義されている。  
※ウォーカーブル推進都市…「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指す政府の方針に賛同し、事業推進に取り組む自治体のこと。  
※保留児童…希望する保育所に入所できず、利用が保留となっている児童のこと。